

## 長期戦略（案）への意見

一般社団法人日本鉄鋼連盟

### 1. 総論

- カーボンニュートラル実現に向け、熾烈な国家間競争が行われる中で地球温暖化対策に取り組むにあたっての基本的考え方として、産業政策、エネルギー政策、地球温暖化対策は我が国の国家戦略の核心であることを明確にした上で、それらが三位一体で取りまとめられ、内容面においても諸外国の国家戦略に勝るものとする必要があることを打ち出すべき。
- また、様々な取り組みを各部門にゆだねるだけでなく、国としての当事者意識を明確にした上で、脱炭素と成長を両立させるグランドデザインを描き、その実現に必要な支援等を躊躇なく講じる決意を示すべき。
- 具体的には、「(2) 経済と環境の好循環の実現」で記載されている通り、2050年カーボンニュートラルに向けては“あらゆる政策を総動員する”ことが必要不可欠であるところ、国においては、『経済と環境の好循環』を生み出す産業界に対し、国富の源泉たる産業競争力維持や雇用基盤の確保という観点に立って、イノベーション促進のための財政支援に限らず、様々な長期的支援策を積極的かつ戦略的に講じていく姿勢についても打ち出して頂きたい。
- また、本戦略では民間資金の活用が全面に打ち出されている一方、それらイノベーションに対する我が国の財政的支援として、グリーンイノベーション基金が造成されたものの、その規模としては10年間で2兆円に留まっている。例えば米国ではクリーンエネルギー関連に4年間で2兆ドル(200兆円)、EUでは気候変動対策に官民合計で10年間に1兆ユーロ(120兆円)以上を投資する方針が発表済みであり、EUでは技術開発段階のみならず社会実装段階まで幅広くカバーする支援策を講じている。それらと比較すると、我が国の財政的支援規模・対象範囲は大きく劣後していると言わざるを得ない。これは我が国産業政策の観点からも問題があるものであり、世界各国の講じている措置を整理したうえで、将来的な財政的支援の積み増しについての決意表明が、特に重要な内容が整理されている「6つの視点」の「(2) 経済と環境の好循環の実現」などに盛り込まれることを要望する。

### 2. 各論

意見(1)

意見箇所：

P4 17行目～24行目

「2030年に向けては、・・・現時点では社会実装されていない脱炭素技術について、これを開発・普及させていくこととなる。・・・常に最新の情報に基づき施策、技術開発等の重点を決めていくことが求められる。」

意見内容・理由：

「(2) 経済と環境の好循環の実現」で記載されている通り、2050年カーボンニュートラルに向けては“あらゆる政策を総動員する”ことが必要不可欠であるところ、国においては、『経済と環境の好循環』を生み出す産業界に対し、国富の源泉たる産業競争力維持や雇用基盤の確保という観点に立って、イ

ノベーション促進のための財政支援に限らず、様々な長期的支援策を積極的かつ戦略的に講じていく姿勢についても打ち出して頂きたい。

また、イノベーションを促進する観点より、それらに対する財政支援の拡大に向けた決意も追記願いたい。我が国ではグリーンイノベーション基金が造成される等の動きがあるものの、財政的支援規模・対象範囲は他国に比して大きく劣後していると言わざるを得ない。これは我が国産業政策の観点からも問題があるものであり、世界各国の講じている措置を整理したうえで、将来的な財政的支援の積み増しについての決意表明が盛り込まれることを要望する。

#### 意見(2)

意見箇所：

P5 3行目～17行目

「(1) 利用可能な最良の科学に基づく政策運営」

意見内容・理由：

本項の記載においては、科学＝IPCC レポートというニュアンスに読めるが、我が国においても様々な科学的な知見を有しているとともに、「いぶき2号」の開発にも見られるようにデータ収集や成果の検証などで我が国の誇る科学力によって世界の温暖化対策に貢献することが可能と考える。よって、それら我が国の科学も踏まえた政策運営を行うことが読み取れる内容とすべき。

#### 意見(3)

意見箇所：

P5 23行目～24行目

「環境対策は、経済社会を大きく変革し、投資を促し、生産性を向上させ、産業構造の大転換と力強い成長を生み出す、その鍵となるものである。」

意見内容・理由：

「政府の環境対策は、経済社会を大きく変革し、投資を促し、生産性を向上させ、産業構造の大転換と力強い成長を生み出す、その鍵となるものであり、政府が主体的に責任をもってその実現に向け努力していくべきである。」との記載に修正願いたい。

本項で掲げられている『経済と環境の好循環』は、各部門の取り組みだけで実現できるものではなく、政府が、社会の変革・産業構造の転換・力強い成長に自らコミットするといった役割を果たす必要があることから、そういった認識を明確にするとともに、それに向けた決意を表明すべきため。

#### 意見(4)

意見箇所：

P5 28行目～33行目

「2050年カーボンニュートラルの実現に向け、・・・ひいては3,500兆円とも言われる世界中の環境関連の投資資金を我が国に呼び込み、雇用と成長を生み出す。」

意見内容・理由：

ここでは需要創出および民間投資の拡大について記載されているが、当該箇所に「あらゆる政策を総動員する。」と記載されているところ、国においては、『経済と環境の好循環』を生み出す産業界に対し、国富の源泉たる産業競争力維持や雇用基盤の確保という観点に立って、イノベーション促進のた

めの財政支援に限らず、様々な長期的支援策を積極的かつ戦略的に講じていく姿勢についても打ち出して頂きたい。

また、2050年カーボンニュートラルに資するイノベーションを促進する観点より、それらに対する財政支援の拡大に向けた決意も追記願いたい。我が国ではグリーンイノベーション基金が造成される等の動きがあるものの、財政的支援規模・対象範囲は他国に比して大きく劣後していると言わざるを得ない。これは我が国産業政策の観点からも問題があるものであり、世界各国の講じている措置を整理したうえで、将来的な財政的支援の積み増しについての決意表明が盛り込まれることを要望する。

#### 意見(5)

意見箇所：

P5 34行目～P6 1行目

「あわせて、新たな地域の創造や国民のライフスタイルの転換など、カーボンニュートラルへの需要を創出する経済社会の変革を生み出す。」

意見内容・理由：

国民理解をきちんと得た上で、経済社会の変化に取り組んでいくことを追記願いたい。

国民のライフスタイルの転換など、行動変容を求めるにあたっては、様々なコスト負担が国民全体に発生することから、それらを含む情報を網羅的かつ明示的に国民に示し、十分な理解を得たうえで取り組みを進めることが実効性を高めるためには肝要と考えられるため。

#### 意見(6)

意見箇所：

P6 33行目～P7 4行目

「これらを踏まえ、脱炭素社会へ向かう際の労働移行を円滑かつ遅滞なく進めるため、・・・円滑に移行できるよう取り組んでいく。」

意見内容・理由：

「公正な移行」の前提として、輸出企業の体力、ひいては国際競争力を維持・向上することが重要との認識を明確にした上で、それら企業に対するあらゆる側面からの支援の重要性についても記載願いたい。

労働市場の流動性が高い欧米と異なり、日本では事業の撤退縮小は「労働力」の公正な移行に留まらぬ、大きな社会問題となることが懸念される。我が国においては、国際市場への輸出で活動する企業も多く、日本国内のみ突出して厳しい施策がとられた場合、それら企業が国際競争力を失い、雇用や事業継続に大きな影響が生じる懸念があるため。

#### 意見(7)

意見箇所：

P7 26行目～P8 3行目

「あらゆる主体が持続可能なモノやサービスを選択できるよう、・・・需要側の取組を促す市場、インフラ及び制度の見直しを進める。」

意見内容・理由：

持続可能なモノやサービスの選択に資する情報やその背景にあるコストなどを国が適切に情報提供す

ることについても記載願いたい。

国民の行動変容を求めるにあたっては、判断材料となる情報が必要となる。また、『ライフスタイルのイノベーション』には様々なコスト負担が国民全体に発生することから、それらを含む情報を網羅的かつ明示的に国民に示し、十分な理解を得たうえで取り組みを進めることが実効性を高めるためには肝要と考えられるため。

#### 意見(8)

意見箇所：

P9 25行目～27行目

「①SDGs の達成 脱炭素社会への移行において、SDGs に掲げられた気候変動以外の目標とのコベネフィット（共通便益）の最大化を目指す。」

意見内容・理由：

「コベネフィットの最大化を目指す」という表現は、他の SDGs 項目に対して気候変動対策を優先すると読める。本来、双方とも優劣はつけられず、気候変動対策が他の SDGs 項目に悪影響を及ぼすことがないようにする事を明記すべき。

#### 意見(9)

意見箇所：

P11 5行目～P22 18行目

「1. エネルギー」

意見内容・理由：

エネルギー起源の CO2 排出削減について縷々記載されているものの、脱炭素社会の実現に不可欠となる“競争力ある価格での安定電源をどう確保するのか”、“競争力ある潤沢な水素をどう確保していくのか”、“供給インフラをいかに整備するのか”といった諸課題の解決に向け、国が当事者意識を持ってどういった役割を果たすのかを明確に記載すべき。

#### 意見(10)

意見箇所：

P15 10行目～14行目

「こうした前提に立ち、2050 年カーボンニュートラルを実現するために、・・・安全性の確保を大前提に、必要な規模を持続的に活用していく。」

意見内容・理由：

「こうした前提に立ち、2050 年カーボンニュートラルを実現するために、政府が主導的な立場で、・・・安全性の確保を大前提に、必要な規模を持続的に活用していく。」という記載に修正願いたい。

本項の前段で記載されている通り、安定的で安価なエネルギーによって経済活動を支えることは極めて重要であるところ、その実現には国の主体的な取組が必要不可欠であることから、国が当事者意識を持って取り組みを実施する役割・責任があることを明確に記載すべき。

#### 意見(11)

意見箇所：

P14 26 行目～P15 4 行目

「こうした社会の実現に向けては、・・・次なる大きな成長につなげる経済と環境の好循環を作っていくことが求められる。」

意見内容・理由：

当該箇所の趣旨として、産業間の構造（構成）転換を意味するものではなく、『ものづくり産業』をやめるという意味ではないことを確認したい。

あくまでも本戦略における構造転換とは『個々の産業部門の中での構造転換』であると理解しているが、文章上、前述のような趣旨であるとの誤解が生じることを懸念する。また、当該箇所について、極力誤解を生まない表現を検討願いたい。

意見(12)

意見箇所：

P22 13 行目～18 行目

「これらの 2050 年を見据えたイノベーションの追求に際しては、・・・取り組むべき政策対応について検証・見直しを進めていく。」

意見内容・理由：

「(2) 経済と環境の好循環の実現」で記載されている通り、2050 年カーボンニュートラルに向けては“あらゆる政策を総動員する”ことが必要不可欠であるところ、国においては、『経済と環境の好循環』を生み出す産業界に対し、国富の源泉たる産業競争力維持や雇用基盤の確保という観点に立って、イノベーション促進のための財政支援に限らず、様々な長期的支援策を積極的かつ戦略的に講じていく姿勢についても打ち出して頂きたい。

そのうえで、『あらゆる政策を総動員していくとともに、』の前段に『大規模な財政支援を含め、』という文言を追加願いたい。

我が国ではグリーンイノベーション基金が造成される等の動きがあるものの、財政的支援規模・対象範囲は他国に比して大きく劣後していると言わざるを得ない。これは我が国産業政策の観点からも問題があるものであり、世界各国の講じている措置を整理したうえで、将来的な財政的支援の積み増しについての決意表明が盛り込まれることを要望する。

意見(13)

意見箇所：

P52 5 行目～7 行目

「さらに、ナッジなどの行動科学の知見や AI・IoT などの先端技術との融合を通じて、一人一人が楽しみながら自発的に実践できるような、脱炭素に向かう行動を促進する。」

意見内容・理由：

「一人一人が楽しみながら自発的に実践できる」ことは重要である。他方、行動変容に伴って生じるコスト負担の側面もあることから、それらを含めた情報を国が網羅的かつ明示的に国民に示し、十分な理解を得たうえで取り組みを進めることが、実効性を高めるためには肝要と考えられる。

意見(14)

意見箇所：

P69 16 行目～21 行目

「これらの分野については・・・自立的な市場拡大につなげるための具体策を盛り込んでいく。」

意見内容・理由：

「(2) 経済と環境の好循環の実現」で記載されている通り、2050 年カーボンニュートラルに向けては“あらゆる政策を総動員する”ことが必要不可欠であるところ、国においては、『経済と環境の好循環』を生み出す産業界に対し、イノベーション促進のための財政支援に限らず、様々な長期的支援策を積極的かつ戦略的に講じていく姿勢についても打ち出して頂きたい。

そのうえで、自律的な市場拡大を喚起するためには、その前提として研究開発・社会実装フェーズを含めて国による手厚い支援が必要不可欠であることから、それらに対する財政支援の拡大に向けた決意も追記願いたい。我が国ではグリーンイノベーション基金が造成される等の動きがあるものの、財政的支援規模・対象範囲は他国に比して大きく劣後していると言わざるを得ない。これは我が国産業政策の観点からも問題があるものであり、世界各国の講じている措置を整理したうえで、将来的な財政的支援の積み増しについての決意表明が盛り込まれることを要望する。

意見(15)

意見箇所：

P94 17 行目～19 行目

「世界の ESG 資金約 3,500 兆円も呼び込み、我が国の産業競争力強化による所得・雇用の創出と、革新的技術の社会実装による温室効果ガス削減につなげる。」

意見内容・理由：

「世界の ESG 資金約 3,500 兆円も呼び込み、我が国の産業競争力強化による所得・雇用の創出と、革新的技術の社会実装による温室効果ガス削減につなげる。こうしたグリーンイノベーション基金に関するプロセスについては不断の見直し・評価を行い、対策として不十分な場合には、大胆に追加予算も検討していく。その際、EU および各国政府が脱炭素化に取り組む産業に対して研究開発から商業化段階までの各フェーズに応じて周到な支援策を講じていることを再認識し、環境と成長の両立を実現しうる政策パッケージの策定と設備実装まで含めた必要な予算措置を講ずることが重要である。」との記載に修正願いたい。

意見(16)

意見箇所：

P95 2 行目～3 行目

「これらの措置により、企業による短期・中長期のあらゆる脱炭素化投資を強力に後押ししていく。」

意見内容・理由：

「これらの措置により、企業による短期・中長期のあらゆる脱炭素化投資を強力に後押ししていくとともに、わが国の産業全体の国際的コスト競争力の観点から、カーボンニュートラルに資する設備を含む償却資産に対する固定資産税の廃止等についても検討する。」という記載に修正願いたい。

意見(17)

意見箇所：

P95 31 行目～33 行目

「その際、現下の経済情勢や代替手段の有無等、国際的な動向や我が国の事情、先行する地方公共団体の取組、産業の国際競争力への影響等を踏まえるものとする。」

意見内容・理由：

「その際、現下の経済情勢や代替手段の有無、政府や各種機関が推進する各種脱炭素技術の開発計画の進捗等、国際的な動向や我が国の事情、先行する地方公共団体の取組、産業の国際競争力への影響等を踏まえるとともに、脱炭素化技術の開発に取り組む民間企業の開発意欲や原資を奪うものにすべきでないことを前提とする。」という記載に修正願いたい。

政府や各種機関が推進する各種脱炭素技術の開発計画の進捗、それを踏まえた技術の実装期間などを無視したカーボンプライシング議論が、成長に資するものになるとは考えられない。また、どのような手法を取る場合であっても、これから脱炭素化技術の開発に取り組む企業の開発意欲や原資を奪うことがあってはならず、その点についても明記すべきと考えるため。

意見(18)

意見箇所：

P101 3行目～7行目

「本戦略に関連し、・・・コストを含む経済への影響、・・・等について、将来の情勢変化に応じて分析を行う。」

意見内容・理由：

『コストを含む経済への影響』が分析項目に含まれていることを歓迎する。同影響の試算については、時宜を捉えて適切に行われるようお願いしたい。

以 上